



2014年8月 第12巻第8号

かく語りき—聖人の言葉

「ランプの灯で『バーガヴァタム』を読む者もいれば、同じ灯の下で偽物作りをする者もいる。しかしランプは影響を受けない。太陽は、高潔な人にも邪悪な者にも同じ光を注ぐ。

(シュリー・ラーマクリシュナ)

「神はあらゆる物の上にも中にもいらっしやる」

(シュリー・クリシュナ)

今月の目次

- ・ かく語りき—聖人の言葉
- ・ 2014年9月の予定
- ・ 2014年7月の逗子例会
- ・ 高野山での戸外夏季リトリート、大成功に終わる
- ・ 忘れられない物語
- ・ 今月の思想

今月の予定

・ 生誕日

スワミー・アベダーナンダ

9月17日(水)

スワミー・アカンダーナンダ

9月24日(水)

・ 協会の行事

※マハーラージは10月20日まで訪印のため不在になります。

『ラーマクリシュナの福音とチャンティングの勉強会』(月2回)

メーダサーナンダ・マハーラージによる新しい勉強会が始まりました。

毎月第1、第3火曜日

※10月はマハーラージ訪印のためお休みになります。次回は11月4日予定です。

10:00~11:00 チャンティングの発音や意味

11:00~12:00 ラーマクリシュナの福音解説

様々なサンスクリット語の発音を学びながら、祈り(チャンティング)の勉強と、ラーマクリシュナの福音を、エ

ピソードも交えながらわかりやすく解説する勉強会です。どなたでも参加できますが、事前に連絡が必要です。

場所：協会本館 無料

申込み&お問い合わせ：シャンティ
shantikaori@yahoo.co.jp までご連絡ください。

※参加される方は、席のご用意と資料の準備がありますので、必ずご連絡をお願いします。（昼食の有無もお知らせください）

※10月のインド大使館講話

10月の逗子例会

はマハーラージ訪印のため中止です。

10月23日(木)カーリー・プージャ

19:00 プージャ、プspanジャリ

(花のお供え)、護摩

21:30 食事(プラサード)

場所：新館アネックス

どなたでも参加可能です！

宿泊される方はシャンティ

shantikaori@yahoo.co.jp までご連絡ください。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

10月24日(金)

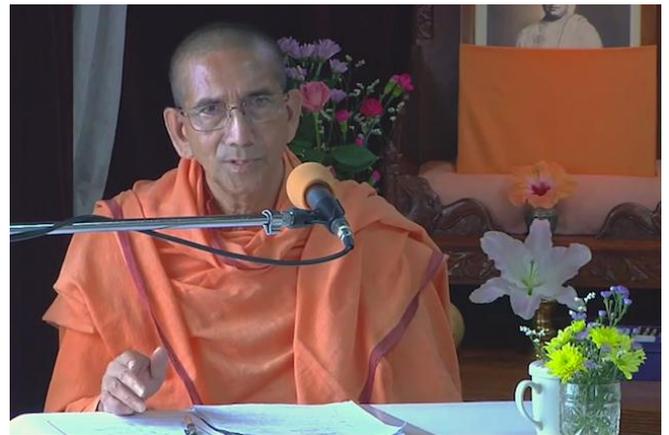
ナラ・ナーラーヤナ(ホームレス神様への奉仕活動)

現地でのお食事配布等

お問い合わせ：佐藤 090-6544-9304

2014年7月の逗子例会

今年は、毎年恒例の夏期戸外リトリート(霊性修養会)が7月19日~21日に和歌山県・高野山南院で開催されたため、7月の逗子例会は開催日が第3日曜から第2日曜に早められ、7月13日(日)に行われました。



午前部

午前部では、まず午前10時30分頃から瞑想を行い、午前11時、スワームー・メーダサーナンダ(マハーラージ)の先導でヴェーダの平和のマントラ詠唱と黙想を行いました。そして、マハーラージは通訳の佐々木陽子さんを前に呼び、講話の前に皆に質問をしました。「『宗教なき科学は不具であり、科学なき宗教は盲目である』と言ったのは誰でしょうか」答えはもちろん、アルベルト・アインシュタインです。

マハーラージは言いました。「必要なこと、大切なことはバランスです。現代人はバランスを失っています。なぜでしょうか。肉体の健康には大変気を

遣っているのに心の健康をほとんど顧みることがないからです。健康な精神なくして健康に生きることはできません」

現代人がバランスを失っているのは、肉体の清潔さや衣類にばかり気を遣って心の清らかさをほとんど考えることがないことに表れています。その結果、身体はきれいで手入れが行き届いていても心は汚れたままです。これがアンバランスの状態なのです。肉体の美しさばかりに目が行き、心の美しさを考えません。

マハーラージはさらに、「家庭の整理整頓に一生懸命でも、自分の心や考えにまとまりがない主婦の方もたくさんいるようです」と言い、「ギャーナ・ヨーガの実践法」をテーマに、このアンバランスな状態にどのように対応すればよいのか講話を行いました。講話のほとんどは日本語で話し、通訳の佐々木さんに時折日本語の言い回しを確認したり部分的に通訳をお願いしたりしました。

午前 12 時 45 分頃講話が終了し、皆で昼食のプラサードをいただきました。その後 1 時間程カルマ・ヨーガが行われ、希望者で協会の掃除や片付けを行いました。

午後の部

午後 2 時 45 分から午後の部が始まり、インドの高名なホメオパシー医であるクリシュナムルティ・ピラカ (Krishnamurty Pilaka) 医師に「ホメオパティック (同種療法) システムの薬とは何か」についてお話しいただきました。通訳は、午前の部と同じく佐々木さんでした。スピーチの後質疑応答を行い、高血圧やストレスなど多くの現代人が抱えている問題や、治療や健康な生活を送るためにホメオパシーではどのような取り組みがあるか、など興味深いお話がありました。



その後皆で少しの間瞑想し、1 階の集会室に移動してお茶をいただきました。参加者は約 30 名でした。

高野山での戸外夏季リトリート、大成功に終わる

日本ヴェーダーンタ協会では、毎年恒例の夏季戸外リトリートを今年は和歌山県・高野山にて開催しました。7 月 19 日 (土) ~ 7 月 21 日 (月) の二泊三日の日程で、宿泊先は南院にある宿坊でした。



マハーラージによると、「今年のリトリートは、心地よい聖地で非常に多くの信者や友人の方々と開催することができ、これまでで最高のリトリート」だったそうです。



今年のリトリートには、18 都道府県と海外からの数名を合わせて80名以上が参加し、過去最高の参加者数となりました。男性が21名、女性が65名で、うち70名は三日間の全プログラムに参加しました。

リトリートのプログラムは、祈り、瞑想、聖典の読書、講話、マントラ詠唱、賛歌朗唱、ハタ・ヨーガなどの霊的修養プログラムの他、散歩や高野山観光など、のんびりしたり聖地の歴史的建築物を堪能したりする時間もありまし

た。

マハーラージは「カルマ・ヨーガの実践」をテーマに講話を行いました。講話は、参加者のご要望にお応えして、現在CD（6枚組）で入手可能です。（日本語のみ。詳細は協会にお問い合わせください）



高野山は日本仏教の聖地の一つで、八葉の峰と呼ばれる八つの山々に囲まれたその地形は「蓮の花が開いたような」と形容されています。山内には117の寺院があり、密教の研究・実践の中心地となっています。2004年、高野山町石道と山内の6つの建造物が熊野、吉野・大峯と共に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産に登録されました。



忘れられない物語

シヴァ神とパールヴァティと牛

昔、シヴァ神とその妻パールヴァティが彼らの乗り物の牛を引き連れて旅をしていました。シヴァ神は年老いた男の姿を取り、パールヴァティは若くて美しいままの姿でした。道中、行き交う人は皆、この老人と若い娘の風変わりな夫婦を驚きのまなざしで見つめました。

途中でシヴァ神が言いました。「パールヴァティや、さあ牛に乗って旅を続けなさい」そこで、パールヴァティはそれに従い牛に乗りました。そしてシヴァ神は並んで歩きました。

村人や通りがかりの人々はひどく批判しました。「なんて身勝手な女だろうね。若くて健康なのに自分は気持ちよさそうに牛に乗って年寄りを歩かせてるよ」

これを聞いて、シヴァ神は考えを変え



ました。「パールヴァティや、皆がお前の悪口を言っているようだ。私が牛に乗りお前が歩いたほうが賢明だろう」こう言うと、シヴァ神は牛にまたがりました。

さらに進むと別の人々が鋭い批判を浴びせました。「おお、この男を見てごらんよ。太ってがっしりしていて、おまけに意地が悪い。自分は牛に乗って、この若くて上品な婦人に歩かせるなんて」これを聞いて、今度は二人で牛に乗りました。これでもうこのような批判は受けないだろう、と考えたのです。

しかしこれは大きな過ちでした。彼らが次の村に着いた途端、人々はあざ笑い、やじりました。「見てごらんよ、この嫌な夫婦を。二人して牛に乗って無慈悲なことだ。哀れな生き物を殺すつもりか」もう、二人にできることは一つしかありません。二人は牛から降りて牛の左右を並んで歩き、牛には自由に歩かせてやりました。

歩いているとまた、違う人から違う批判を受けました。「なんて愚か者なんだろう。二人とも牛に乗らず連れて歩いているだけだよ」と大声で言われ、笑われました。

シヴァ神はすぐさまパールヴァティに言いました。「さあ、自分が正しいと思うことをし、望むように生きよう。

世間というものは我々がすることを決して認めないし、正しいと思わないものなのだ」

この世はたとえ私達が良い行いをしても、誰もがそれを気に入りに支持してくれるとは限りません。この世の性質に問題があるのです。サードゥ（高德の人）が奇跡を起こせば、「彼は黒魔術を好み邪悪な力がある」と人に言われます。サードゥが奇跡を起こさなければ、「おお、何の奇跡も起こせないのか。彼はただの人で役に立たない」と文句を言われるでしょう。こういう考え方で私達の世界は回っているのです。世界はゆがんでいて、どういう行いをしようと決して真っ直ぐ評価してくれない世界なのです。だから、世俗の人々の言うことは気にせず、心の底から神への礼拝を続ければよいのです。

(Yogiji Maharaj 作 『Tales of Wisdom』)

今月の思想

「生きていることは、全世界で最も稀なことである。たいていの人は存在しているだけだ」

(オスカー・ワイルド)

発行：日本ヴェーダーンタ協会

249-0001 神奈川県逗子市久木 4-18-1

Tel: 046-873-0428

Fax: 046-873-0592

Website: <http://www.vedanta.jp>

Email: info@vedanta.jp